

令和3年10月28日研究公開報告

令和3年度大隅地区研究協力校研究公開

大崎町立大崎小学校で

「特別の教科『道徳』」についての研究公開が開催されました。

令和3年10月28日（木）に、大崎町立大崎小学校にて、大隅地区研究協力校「特別の教科『道徳』」の研究公開が行われました。大崎小学校は、研究主題を「子供たちがいきいきと『考え、議論する』道徳科の授業の在り方」と設定し、2年間研究に取り組みました。

道徳科の授業が本格実施となり、各校の成果や課題が浮き彫りになるこの時期に、理論がしっかりと積み上げられた本研究は、授業の面からも校内掲示物に至るまで、参観者に多くのことを還元できるものとなりました。



【閉会のあいさつ】下吉 靖孝校長先生

【研究発表】

「考え、議論する」道徳科の授業をどのように追究してこられたか、その研究の内容や成果を、本校の濱田先生が全体会の場で発表されました。道徳的価値と自分の関わりの捉えさせ方の工夫、多面的・多角的な「学び合い」の在り方、振り返りの工夫等に着眼して3つの仮説を立て、理論研究と授業研究を積み重ねてこられた成果が、本日の子供たちの主体的な姿から伝わってきました。今後も自己の生き方をより深く考えることと思います。



【研究発表の様子】

【授業研究】

両分科会のグループ協議の視点は「『いきいきと考え、議論する』授業になっていたか」を中心に進められました。各学年の発達に段階に応じた教科としての道徳について、各グループ協議でも大変熱心な協議が進められました。道徳科の授業が深まる時間となりました。【授業研究の様子】



【公開授業：第1学年】

主題名「じぶんのよさ」

（教材名「あなたってどんな人」日本文教出版）

本時は、内容項目A4「個性の伸長」で、自分の特徴に気付くことを目指した「心情中心型」の授業でした。南谷先生は、児童の考えを重視し、登場人物の性格や苦手なこと等に着眼させることで、自分のよさに気付かせていく追求・深化の学びを深められました。



【1年生の授業】

【公開授業：第6学年】

主題名「終わりなきちょうせん」

（教材名「iPS細胞の向こうに」日本文教出版）

本時は、内容項目A5「希望と勇気、努力と強い意志」で、より高い目標を立て希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと」に着目した「価値中心型」の授業でした。川野先生は多様な学び合いを通して、児童に努力の本当の価値を考えさせることをとても重視されました。



【6年生の授業】